さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

児童の下校見守り10年

笛吹・春日居の団体「安全これからも」

笛吹・春日居小の通学路で児童の下校を見守るボランティアグループ「春日居見守りたい」（田中勇会長）が今年、発足から10年を迎えた。メンバーは「これからも子どもたちの安心安全を確保し、児童センターまで送り届けていきたい」と力を込める。〈土屋真佑子〉

峡東

穴山菜津美
土屋真佑子

グループは、地元の老人会などを中心に2013年に発足。現在は民生児童委員らも加わり約50人で活動している。「春日居見守りたい」と書かれた桃色のたすきを身に着け、春日居小から春日居児童センターまでの約600㍍の通学路を、毎日3人一組で付き添っている。

メンバーによると、通学路には、道路脇に川が流れている場所や信号機のない横断歩道など危険な箇所が多い。そのため、3人が児童の列の先頭と中間、最後尾に分かれ、子どもたちの横を歩いて送り届けている。発足当時から活動する志村幸太郎さん(85)は「子どもの安全に少しでも役立てるよう、健康なうちはやり続けたい」と話す。

グループは見守り活動に加え、「成長や犯罪抑止にもつながる」（田中会長）ことから、子どもたちのあいさつの習慣化にも力を入れている。メンバーから積極的に声をかけ、児童からは「こんにちは」「ありがとうございます」など元気な声が上がっている。

9月にはグループ内で交流会を開き、メンバーら約20人が日々の活動報告や気づいたことなどを意見交換した。春日居小の進藤美佳校長は「地道な活動が子どもたちの安全だけでなく、心の成長にもつながっている」と感謝。田中会長は「地元への恩返しにもなるよう、将来を担う子どもたちの安心安全を守っていく」と話した。

（2023 年 10 月 11 日付 山梨日日新聞 18 面）

問1

春日居小の通学路で、児童の下校を見守るボランティアの、グループ名を答えてください。

.....

問2 次の文章のⒶからⒽに当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『ボランティアグループは、地元のⒶなどを中心に2013年に発足。現在はⒷらも加わり約Ⓒ人で活動している。「春日居見守りたい」と書かれたⒹのⒺを身に着け、春日居小からⒻまでの約Ⓖメートルの通学路を、毎日Ⓗ人一組で付き添っている』

Ⓐ.....　Ⓑ.....　Ⓒ.....　Ⓓ.....

Ⓔ.....　Ⓕ.....　Ⓖ.....　Ⓗ.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.